

平成27年5月21日

加東市長 安田正義様

加東市まちづくり推進市民会議

座長 梅野巨利

加東市行財政改革推進計画（案）について（答申）

平成27年3月17日付け諮問第20号で諮問のあった標記のことについて、下記のとおり答申します。

記

加東市行財政改革推進計画（案）に対する当市民会議における意見を取りまとめましたので、その計画の策定に当たっては、十分検討されることを求めます。

また、策定後はその計画に基づき行財政改革の推進に取り組んでいただきますようお願いいたします。

別紙

- 1 取組項目2「公共施設の適正化」について
取組に当たっては、今後も地域住民との合意を図りながら進めていただきたい。
- 2 取組項目3「イベント等のあり方の検討」について
地域実施への移行については、イベントの趣旨等を勘案の上、検討いただきたい。
- 3 取組項目7・8「公立保育園のあり方の検討」「公立幼稚園のあり方の検討」について
 - (1) 公立保育園及び公立幼稚園のあり方の検討に当たっては、未来ある子どもたちのためにすくすく健康で安全に成長できるための施設環境の整備について、十分に考慮すべきである。
 - (2) 良質な成育環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援するため、市の現状を正しく把握し、より良い環境づくりに努めていただきたい。
 - (3) 目指すべき方向性を決定しているのであれば、その内容を明確に計画へ記載し、今後、公共施設適正配置計画等においてその方針を決定するのであれば、「公共施設の適正化の方針に基づき」などの記載を入れる方が良いのではないか。
 - (4) 認定子ども園への移行に当たっては、その運営体制について十分検討した上で行う必要がある。
- 4 取組項目9「図書館利用の促進」について
図書館の利用者減少には、情報媒体の多様化、電子化、少子高齢化、また、利用者の関心や利用形態の変化など様々な要因が考えられることから、それぞれの館の蔵書に特性を持たせる方向での運営も検討してはどうか。
- 5 取組項目21「定員管理の適正化（嘱託・アルバイト職員を含む。）」について
専門職を必要とする部署には、嘱託職員やアルバイト職員による体制整備では、士気の向上につながらず、土台が形成されないのではないか。福祉面で言えば、支援を必要とする高齢者の発見が遅れると多方面に課題が広がり、税金、市営住宅の家賃、病院の費用等の滞納にもつながっているケースが増えているように思われる。意欲の持てる職・地域づくりに配慮いただきたい。
- 6 取組項目23「研修制度の充実」について
受講者の自己啓発につながるような実効性のある成果指標の設定を検討する必要がある。
- 7 取組項目25「予算編成手法の工夫」について
取組項目の名称を計画内容と整合をとったものとすべきである。
- 8 取組項目29「新たな財源等の確保」について
 - (1) 新たな財源等の確保について、他の手法についても検討いただきたい。
 - (2) 図書館の来館者増のための雑誌の充実に関しては、定期購読雑誌の適切な調査による精選と削減が重要であると考えます。

9 取組項目35「公共交通の充実」について

地域公共交通網形成計画・再編実施計画の策定に当たっては、国立大学法人兵庫教育大学や兵庫県立教育研修所のある特性を踏まえた取組を検討してはどうか。

10 その他

指標（目標）については、問題点の分析を十分行った上で、できる限りその問題を一気に解決するという観点で設定し、それへ向けた取組をしていただきたい。